



学校だより

令和3年度 第10号

令和4年2月1日発行

東京都立王子特別支援学校長

久保井 礼

「挨拶とその時間」

校長 久保井 礼

「おはようございます」という元気な声が、毎朝学校中に飛び交います。「おはようございます」「こんにちは」という挨拶は、「人と人をつなぐ」第一歩として大切な言葉です。また「ありがとう」「ごめんなさい」は「相手を思いやる、相手のことを考えた」優しい言葉です。こうしたすてきな挨拶や相手を思いやる言葉のやり取りを児童・生徒一人一人に確実に身に付けられるようにしたいと本校では願っています。

社会生活において人間関係はとても重要で避けて通ることは決してできません。職場や家庭その他のあらゆる場面に関わる人々と、良好な人間関係を構築するためにも「挨拶」は欠かすことのできないコミュニケーションの一つです。人間関係を構築するためにはまずはお互いの存在を認め合い、言葉を交わすことから始まり、お互いを知り、意図的に良好な関係を継続しようとする思いやりが重要だと思います。「こんにちは」、「おはようございます」、「ありがとうございます」という短い言葉は出会う二人の距離を一気に縮めてくれます。

現在、高等部の文化祭が映像配信という方式で行われています。本校の今年度最後の配信方式での行事となりますが、小学部、中学部の体育発表会や学習発表会でも、これまで日頃の学習の成果を一本の映像ファイルにまとめるために何度も撮り直しと編集を行ってきました。高等部も例外ではなく、本当に本番までに間に合うのかと心配になったグループもありました。その中の一つに、高等部3年生の発表があります。大縄跳びの場面ですてきな挑戦がありましたので紹介します。「生きる喜び」、「信じ合う気持ち」、「思いやる気持ち」を発表のテーマに掲げ、何をやってもうまくいかない状況の中で友達と協力して最後に成功をつかみ取るお話です。とても難しい大縄跳びとダブルダッチに挑戦する生徒の姿を、練習段階から何度も見ていましたが1回も成功したことがなく、本当に心配でした。しかし最終日の10回目の挑戦で見事に成功し、その瞬間に偶然にも立ち会うことができました。生徒たちは舞台の上でその歓喜を余すことなく表現していました。またその瞬間を心待ちにしていた教員もきっと同じ思いだったことでしょう。これまで何度も挑戦する中で縄を足に引っ掛け、失敗してしまうと、「すみません、ごめんなさい」と下を向いてしまう生徒もいました。でもすぐに別の友達の「大丈夫！次行こう、絶対できる！」と明るい声その場に響きます。決してあきらめない、友達を信じる気持ちは相手を思いやる優しくもあり心強い掛け声となり、いつしか成功に導く大きな原動力になりました。またもう一つの挑戦ですが、旋回する大縄に入るタイミングがつかみにくい友達と、その背中を押す友達の挑戦です。不思議な事に彼が背中を押すと、必ず成功するのです。見事なアシストですが、そのタイミングを待つ生徒も、絶対の信頼をもって、その瞬間を待っているのです。押し出す手のひらの温かさと一歩踏み出す勇気がコンマ何秒の瞬間を作り、そこには二人だけの「信じ合う気持ち」が存在します。このように本校では「相手を思いやる気持ち、相手のことを考えた」優しい言葉は多様な方法で存在し、人をつないでいます。そしてこれからも大切にしていきたいと思っています。

「小学部 5 年」 第 5 学年主任 竹内 まり子

王子特別支援学校では、廊下の壁面掲示に力を入れています。小学部 5 年生では、今年の干支を図画工作で作成しました。児童一人一人が描くトラの表情がとても豊かです。

ぜひ校内に入った際は作品に目を向けてくださると幸いです。



「中学部報告」 中学部主幹 小野寺 肇

3 年生の生活単元学習で、リサイクルについて考える学習に取り組んできました。1 月にはサントリーの方に講師として来校いただきました。ペットボトルをリサイクルすることで、新たな資源を使用しないで再びペットボトルができることを教えていただきました。「家でもリサイクルを続けてやってみる！」という声が、多くの生徒たちから聞かれました。

「高等部報告」 高等部主幹 竹内 徹

文化祭動画は、お楽しみいただけただでしょうか。学年、生徒会、ダンス部、音楽部、皆様々な工夫を施して収録しました。無事、配信することができホッとしています。感染拡大により予定していた行事の変更を余儀なくされていますが、生徒の安全を第一に考え、代替活動の企画等、少しでも充実した学校生活となるよう努めていきます。

2 月の予定

日	曜	行事等				下校
		全校	小学部	中学部	高等部	
1	火	安全指導日 高等部休業日			入学相談	2 便
2	水					2 便
3	木			進路見学(1)		2 便
4	金	漢字検定		ALT(3)	ALT(2)	2 便
5	土					
6	日					
7	月		ALT(4)	ALT(1)		1 便
8	火	避難訓練(地震)				2 便
9	水	心身健康相談	ALT(5)		ALT(1)	2 便
10	木		ALT(6)	ALT(2)		2 便
11	金	建国記念の日				
12	土					
13	日					
14	月	P T A 役員会	ALT(3)	ALT(1)		2 便
15	火				喫茶検定(3)	2 便
16	水	0 便下校(小中)口	1 日入学	1 日入学		2 便
17	木	高等部保護者向進路講話				2 便
18	金					2 便
19	土					
20	日					
21	月				校内実習始(1)	2 便
22	火					2 便
23	水	天皇誕生日				
24	木	0 便下校(小中)	1 日入学	1 日入学		2 便
25	金		ALT(3)		校内実習終(1) ALT(2)	2 便
26	土					
27	日					
28	月	P T A 運営委員会				2 便

「支援をつなぐ」

特別支援教育コーディネーター 鎌田 英美

今年度も残り僅か、まとめの時期になりました。様々な制約の中のこの一年でしたが、確実に子供たちは成長してきています。そして 4 月には進級、進学、高等部 3 年生は社会参加します。ここまでの成長の様子、更なる課題、配慮を要するポイント等を次の支援者に引き継ぐことが必要になります。3 月の個人面談にはぜひ、『学校生活支援ファイル』を持って臨んでください。ここまでの成果を確認していただき、次に向けて一緒に考えていきましょう。そしてこの大事な資料を関係する支援者とぜひ共有し、子供たちの支援に活用していきましょう。